

まとめ：ごみかん理事 小野寺 勲

「第二次循環型社会形成推進基本計画」（2008年3月）の取り組みの進捗度を測る指標の一つとして、「循環型社会形成に向けた意識・行動の変化」の実態を把握し、今後の施策の参考とするために実施されました。全国20歳以上の人を対象として、2009年11月にインターネットで調査。有効回答数1,000人。全32ページ。毎年度実施。

指標として設定されている調査項目・選択肢 (※印は2009年度調査で選択肢を更新または分割)	2008 年度	2009 年度
■ 3R全般に関する意識		
ごみ問題への関心		
・ごみ問題に（非常に・ある程度）関心がある	86.1%	82.1%
3Rの認知度 ※		
・3Rという言葉の意味を知っている	29.3%	40.6%
廃棄物の減量化や循環利用に対する意識 ※		
・ごみを少なくする配慮やりサイクルを（いつも・多少）実施している	48.2%	70.3%
・ごみの問題は深刻だと思いつつも、多くのものを買ひ、多くのものを捨てている	3.8%	10.0%
グリーン購入に対する意識 ※		
・環境に優しい製品の購入を（いつも・概ね・多少）意識している	81.7%	81.6%
・環境に優しい製品の購入をまったく意識していない	14.0%	14.6%
■ 3Rに関する主要な具体的行動例		
Reduce		
・レジ袋をもらわないようにしたり（買い物袋を持参する）、簡易包装を店に求めている	64.3%	69.1%
・簡易包装に取り組んでいたり、使い捨て食器類（割り箸等）を使用していない店を選ぶ	10.8%	13.5%
・マイ箸を携帯して割り箸をもらわないようにしたり、使い捨て型の食器類を使わないようにしている ※	12.0%	—
・マイ箸を携帯している ※	—	10.2%
・ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器や、使い捨て食器類を使わないようにしている ※	—	21.5%
Reuse		
・インターネットオークションに出品したり、落札したりするようにしている	30.5%	28.4%
・不用品を、中古品を扱う店やバザーやフリーマーケットで売っている	23.8%	21.0%
・ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	10.0%	11.7%
Recycle		
・スーパーのトレイや携帯電話など、店頭回収に協力している ※	41.4%	—
・トレイや牛乳パックなどの店頭回収に協力している ※	—	44.3%
・携帯電話の店頭回収に協力している ※	—	20.4%
・再生原料で作られたリサイクル製品を積極的に購入している	14.1%	14.6%